

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

台形骨切りを用いたステップ型オトガイ形成術の有用性

研究計画

(1)背景・意義

オトガイ形成術には様々な骨切り方法が報告されており、オトガイの移動方向や目的とするオトガイ形態に応じて多様な骨切り方法が用いられている。

(2)目的

当院ではオトガイを前進させる際に、台形型に骨切りし短縮させつつオトガイを移動させており、その際オーバーラップする部分にステップを作り移動骨片を乗せる事で、術中評価を容易にすると共に、術後の後戻りの防止としている。オトガイの幅を狭くしつつ前進させる場合に、効果的な方法と考えられるので、その有用性を検討し報告する。

(3)方法

2019年1月から2022年12月までの間に当院でオトガイ形成術を行った全患者を後方視的に検討する。患者のカルテならびに放射線画像を解析し、オトガイ形態の変化を評価する。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないよう匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先